

クラウドドライブの比較

容量と料金および適性等

	Dropbox	Googleドライブ	OneDrive
用途・適性	良く使うデータ	蓄積データ	ローカル容量が少ない場合(仮想ドライブ使用(PCの場合のみ))
無料容量	2GB(紹介プログラム活用等で最大38.75GB)	15GB	7GB
有料容量(クレジット決済)	最大500GB 100GB 12,000円/年	最大16TB 100GB 4.99 \$/月	最大200GB 100GB 4,000円/月
特記事項	同期が速い。スマホ/タブレットでは非同期。	同期が遅い	仮想ドライブを使う事により、ローカルに同期ファイルを置く必要が無い。
保存期間	90日間利用していないと削除される。	無期限	1年サインインしていないと、Microsoftアカウント毎削除される。

クラウドドライブの選択について

無料で使いたい場合

データが少なければ無料で使う事ができます。

良く使うデータと蓄積データを分けたい場合

DropboxとGoogleドライブを使い分ける事をお奨めします。

ビジネス利用で、セキュリティや複数ユーザーのアクセス権管理、退職者のデータ引継ぎを円滑にしたい場合

Dropboxビジネス向け(有料)がお奨めです。14日間の試用が可能です。

ローカル(ハードディスク)に空き容量が少ない場合

OneDriveを仮想ドライブとして使用する方法をお奨めします。

クラウドドライブのバックアップについて

バックアップは必要です。

クラウドドライブ側でもバックアップはしているようですが、やはりご自分でバックアップを取った方が安心です。

弊社の重要データ自動バックアップシステム構築で対応できます。

下記3つのバックアップ方式の併用で、様々な障害に対応したバックアップができます。

・ミラーリングバックアップ

同期方式のバックアップです。フォルダ構造そのままにバックアップ(同期)します。

これにより、フォルダ構造がそのままなので、全体および部分の復元が容易にできます。

・冗長バックアップ

ミラーリング(同期)しないバックアップ方式です。バックアップ先のファイルやフォルダを消さないで、過去にバックアップされたデータも残ります。

従って、誤って削除したデータがあれば、バックアップデータがあれば、冗長バックアップフォルダ内から検索できます。

・世代管理バックアップ

更新されたファイルについて、既にバックアップされている過去バージョンのファイルを世代管理フォルダに移して管理します。その為、あるファイルを過去のバージョンに戻したい場合等に、世代管理フォルダ内を検索して過去バージョンを探すことができます。誤って上書きした場合は、自動バックアップ前はミラーリングバックアップフォルダから戻せます。自動バックアップ実施以後は、世代管理バックアップフォルダから探す事ができます。